

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	英語 A I
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	生産デザイン工学科 (共通科目)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	Vivid English Communication I 及び準拠予習ノート、ワークブック(第一学習社) / COCET2600—理工系学生のための必修英単語2600(成美堂)					
担当教員	横山 郁子,久保川 晴美					
到達目標						
1. 中学既習レベルの英単語を理解できる。 2. 文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。 3. 理解を終えた英文を、聞き手にわかりやすく音読できる。 4. TOEIC Bridgeで125点相当の点数を取ることができる。 5. 英検準2級に合格できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解し、正確に綴れる。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解している。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句に、理解できないものが多く残っている。	
評価項目2	文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使ってほぼ内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使っても内容理解ができない。	
評価項目3	教科書で学習した文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。		教科書で学習した文法事項や構文を文脈の中で理解できる。		教科書で学習した文法事項や構文に理解できないものが多く残っている。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本授業では、中学既習レベルの英語力を安定させ、「読み」「書き」「話し」「聞く」の4技能を総合的に向上させることを目的とする。各課の単語習得(意味・発音・アクセント)・熟語習得・文法事項理解・内容理解を通じて、語彙を増やし英語の音声に親しみ、高校レベルの英語学習へのしっかりした下地を作る。					
授業の進め方・方法	各課の予習(単語調べ、本文全体の通読など)は必須とする。 適宜、小テストや各課の復習テストなどを課す。					
注意点	辞書を必ず持参すること。 TOEIC Bridge、英検、全校一斉英単語テスト(「理工系学生のための必修英単語2600」)などの成績は、評価に加味する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		予習復習の仕方、授業の進め方、テストの説明などを理解する。	
		2週	中学までの既習事項の復習		基本語彙・基本文法事項の習得具合の確認、辞書指導、発音指導など	
		3週	Lesson 1 (1)		SV、SVC、SVO、基本時制について理解する。	
		4週	Lesson 1 (2)		SV、SVC、SVO、基本時制について理解する。	
		5週	Lesson 2 (1)		進行形、不定詞の3用法、S+V+O(=that節)について理解する。	
		6週	Lesson 2 (2)		進行形、不定詞の3用法、S+V+O(=that節)について理解する。	
		7週	Lesson 2 (3)		進行形、不定詞の3用法、S+V+O(=that節)について理解する。	
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。	
	2ndQ	9週	Lesson 3 (1)		動名詞、現在完了形、受け身について理解する。	
		10週	Lesson 3 (2)		動名詞、現在完了形、受け身について理解する。	
		11週	Lesson 3 (3)		動名詞、現在完了形、受け身について理解する。	
		12週	Lesson 4 (1)		比較、S+V+O+to～、疑問詞+to～について理解する。	
		13週	Lesson 4 (2)		比較、S+V+O+to～、疑問詞+to～について理解する。	
		14週	Lesson 4 (3)		比較、S+V+O+to～、疑問詞+to～について理解する。	
		15週	定期試験		9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。	
		16週	定期試験内容についての解説		定期試験の内容を理解する。	
後期	3rdQ	1週	Lesson 5 (1)		現在分詞、過去分詞、関係代名詞 (主格) について理解する。	
		2週	Lesson 5 (2)		現在分詞、過去分詞、関係代名詞 (主格) について理解する。	
		3週	Lesson 5 (3)		現在分詞、過去分詞、関係代名詞 (主格) について理解する。	

		4週	Lesson 6 (1)	関係代名詞（目的格）、It is~(for...)to~、過去完了形、関係代名詞whatについて理解する。
		5週	Lesson 6 (2)	関係代名詞（目的格）、It is~(for...)to~、過去完了形、関係代名詞whatについて理解する。
		6週	Lesson 6 (3)	関係代名詞（目的格）、It is~(for...)to~、過去完了形、関係代名詞whatについて理解する。
		7週	Lesson 6 (4)	関係代名詞（目的格）、It is~(for...)to~、過去完了形、関係代名詞whatについて理解する。
		8週	中間試験	1~7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	4thQ	9週	Lesson 7 (1)	S+V+C(=that節)、現在完了進行形、S+V+O(=疑問詞節)、It is+形容詞+that節について理解する。
		10週	Lesson 7 (2)	S+V+C(=that節)、現在完了進行形、S+V+O(=疑問詞節)、It is+形容詞+that節について理解する。
		11週	Lesson 8 (1)	関係副詞、S+V+O+O(=that節)、S+V+O+O(=疑問詞節)について理解する。
		12週	Lesson 8 (2)	関係副詞、S+V+O+O(=that節)、S+V+O+O(=疑問詞節)について理解する。
		13週	Lesson 9	強調構文、助動詞+受け身、S+V+O+C(=原型不定詞)、S+V+O+C(=現在分詞)について理解する。
		14週	Reading	強調構文、助動詞+受け身、S+V+O+C(=原型不定詞)、S+V+O+C(=現在分詞)について理解する。
		15週	定期試験	9~14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	定期試験内容についての解説	定期試験の内容を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1	前1
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	前1
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	前1
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	前1
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	前1
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	前1
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	前1
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	前1
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	前1
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	1	前1
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	前1
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前1
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	後12
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	後12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後12
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後12
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	後12
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	後12
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2	後12
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	後12

評価割合

	試験	課題テスト	課題・小テスト・全学単語テスト等	小テスト	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	65	5	30	0	0	0	100
基礎的能力	65	5	30	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0